



News Letter

■2010年11月24日発行 ■編集・発行／三重大学高等教育創造開発センター

2010年度 三重大学全学FD&SD の報告 「新任教職員オリエンテーション」

2010年8月30日（月）の10:00から16:30まで総務部の人事チームと高等教育創造開発センターが共同で企画した三重大学全学FD・SD「新任教職員オリエンテーション」を開催しました。主な目的は、新任の教職員が、三重大学の研究・教育の理念や目標、歴史や文化、大学内の教育研究施設の現状、授業デザインの基本的な方法、学内の学習・教育支援環境について理解を深めることです。全体は、午前の部、昼食会、午後の部からなります。

午前部：学長や理事の講話

10:00から12:00まで、56名の教職員がメディアホールに集まって、三重大学の教育研究に関する全体的な取り組み、必要となる諸手続き等に関する学長や理事の講話を聞きました。講話の内容は次のとおりです。

学長の講話：

三重の由来、三重大学の歴史、三重大学の目標、大学の歴史、国立大学の法人化など
内田淳正（学長）

三重大学の研究の現状と体制

加納 哲（副学長（研究担当））

三重大学の教育目標と取組み

野村由司彦（理事（教育担当））

情報・国際交流で知っておいてほしいこと

松岡 守（理事（広報・情報・国際担当））

評価の時代に答える

後藤正和（理事（企画・環境担当））

採用されて特に注意して欲しいこと

坂口 力（理事（人事労務・財務担当））



昼食会

次に、会場をパセオに移して昼食会を開催しました。参加者たちは、学長や理事とともに立食形式で昼食をとりながら、自己紹介をしたり情報交換をしたりしました。会場に設置したスクリーンでは、三重大学を紹介するDVD『2010三重大学紹介：三重の力を世界へ』（約20分）を投影していました。

DVDには英語版もあります。DVDを希望する場合には、広報室におたずね下さい。（内線9789）



午後部：キャンパス・ツアー

午後は、事務系職員と教育系職員に分かれました。23名の事務系職員はキャンパス・ツアーに参加しました。

最初に、講堂を見学しました。講堂（三翠ホール）は平成7年（1995年）に竣工され、本学の教育研究活動にかかる各種行事はもとより、国内外の諸会議、一般市民向けの公開講座等多目的に使用されています。今回は、舞台裏も見学し、大規模な装置に見入っている職員もいました。

次に、現在建設中の附属病院新病棟・診療棟を見学しました。建物内部はまだ機器等が備え付けられていない部屋が多く、広々とした印象を持ちました。その後、大型エレベーターに乗り、屋上にあるヘリポートに行きました。ヘリポートは非常に眺めが良く、津市内が一望できました。伊勢湾の方に目を向けると、遠くに中部国際空港も見ることができました。

続いて、レーモンドホールを訪れました。有形文化財にも登録されているこの建物は、昭和26年（1951年）に三重県立大学の附属図書館として建設され、昭和44年（1969年）、現在地に移築されました。設計者であるアントニン・レーモンド（Antonin RAYMOND）氏は、帝国ホテル建設を補佐するために来日し、その後も多くの建築を手がけました。丸太財を多く使用している構造がとても印象的でした。

その後、マイクロバスに乗り、附属農場（津市高野尾）へ向かいました。農場では、牛舎や果樹園等普段あまり見ることがない施設を見学でき、貴重な体験ができました。牛は、写真とは異なり、間近で見るとたいへん迫力がありました。

最後に、三重県総合文化センター内にある放送大学三重学習センターを見学しました。本学では放送大学を利用した職員研修も取り入れており、現在も約20名が受講しております。最近では、大学職員向けの授業科目も開講されており、本学の受講者も増えています。

キャンパス・ツアーを通して、実際の施設を見るだけでなく、その背後にある歴史や本学の取り組みが感じられ、たいへん有意義なものであったと考えています。



◎ 午後の部：授業オリエンテーション

15名の教育系職員は、ラーニング・コモンズ（ニューズレターNo.12参照）で、次の内容からなる授業のオリエンテーションを受けました。

三重大学の教育 その質保証はいかに
野村由司彦（理事（教育担当））

授業の設計とシラバス
長澤多代（高等教育創造開発センター(HEDC)）

学生なんでも相談室が提供するサービス
鈴木英一郎（学生なんでも相談室）

Moodleの操作法
森尾吉成（生物資源学部，HEDC）

附属図書館が提供する学習・教育支援サービス
河谷宗徳（学術情報部情報図書館チーム）

最初の「三重大学の教育 その質保証はいかに」では、三重大学の教育目標、3つの方針（ニューズレターNo.15参照）、初年次教育、Moodleの導入、シラバスでの教室外学習の指示



など、三重大学の教育の全体像とともに、学習成果の向上のための取り組みについての説明がありました。

「授業の設計とシラバス」では、授業を設計するとは、シラバスの定義や意義、記載する主な内容について説明がありました。そのなかで、教室外学習の指示を与えることの重要性について説明があり、三重大学内の学生用の自習室*、設計した授業を実現するための学習・教育支援環境の紹介がありました。

これに続いて、三重大学内の学習・教育支援環境として、学生なんでも相談室、Moodle、附属図書館に関する説明がありました。ここで紹介されたサービスの窓口は次のとおりです。

学生なんでも相談室 <http://www.mie-u.ac.jp/gakumu/osirase/nandemosodan-top.html>

開室時間 8:30～13:00, 14:00～17:00(月～金)
電話・FAX (059)231-9783 (内線9783)
sodan@ab.mie-u.ac.jp

Moodle <http://portal.mie-u.ac.jp/moodle/>
操作マニュアルと操作法を示した動画もあります。
Moodleヘルプデスク: 利用時のトラブルや操作方法に関する質問を受け付けています。
moodle-support@ml.mie-u.ac.jp

附属図書館（ニューズレター No.5参照）
<http://www.lib.mie-u.ac.jp>

図書館の利用：
内線9088, lib-service@ab.mie-u.ac.jp
文献複写・相互貸借：
内線9660, portal@ab.mie-u.ac.jp
参考調査・情報リテラシー講習会：
内線9089, literacy@ab.mie-u.ac.jp
図書・雑誌の購入：
内線9085/9084, lib-tosho@ab.mie-u.ac.jp/
lib-zasshi@ab.mie-u.ac.jp
機関リポジトリ：
内線9814, miuse-s@ab.mie-u.ac.jp

（総務部人事チーム 内田友和）
（高等教育創造開発センター 長澤多代）

*学内の自習室のリストを公開しています。ご活用ください。
http://www.hedc.mie-u.ac.jp/pdf/study_hall-20100823.pdf